

## 感染症防止対策についての連絡事項

大会競技委員長

- 
- (1) 今大会は一般の観戦者を制限した開催とし、会場への立ち入りは以下の者のみとし、下記 i と iii を合わせた 1 チームの入場者は 40 名を上限とする。
    - i 選手・チームスタッフ・エントリー以外のチームメンバー
    - ii 大会役員（審判員・運営に関わる競技役員など）
    - iii 選手・チームスタッフ・エントリー以外のチームメンバーの家族等
  - (2) 入館の際はチームごとにまとまって入場すること（上記 i と iii は別で入場することもできる）。その際、健康チェックシートの提出をすること（上記 i については、体温・体調アプリケーションとして、「GLOBAL SAFETY」での確認もできる）。健康チェックシートに記載されている内容をもとに人数確認を行う。また、入館の際に、必要に応じて検温を行うこともある。健康チェックシートを提出しなければ館内へ入場できない。

チームの入場は当該試合の時間帯のみとする。ただし、1日に複数の試合がある場合は、会場で待機することができる。その際は密集を避けるように注意すること。待機場所はギャラリーの指定された場所とする。
  - (3) 館内は原則として常時マスク着用とする。また、手洗い・手指消毒などの基本的な感染症対策をこまめに行うこと。
  - (4) 試合中も、コートでプレーしている選手以外は常時マスクを着用し、ベンチでは極力離れて着席すること。なお、アップゾーンを使用できるのは、試合に出場する直前のみとする。また、ベンチ・アップゾーン・ギャラリーから声を出しての応援は出来ない。
  - (5) メンバーチェンジの際はナンバーパドルの使用はしない。
  - (6) 試合前後の選手同士及びチームキャプテンからの審判員への握手は行わない。
  - (7) ボール等の競技用具の消毒は試合終了ごとに競技委員が行う。また、入館の際に消毒液・ペーパータオル・除菌シート等の物品をチームに渡すので、試合中のベンチ並びに使用した観覧席については、チームでの消毒作業の協力をお願いする。ベンチの消毒については、コートチェンジ時と試合終了後に行うこと。コートチェンジはベンチの消毒を行ってから、審判の指示により行う。
  - (8) チームの飲み物の空き容器等は、館内には置かずチームの責任として必ず持ち帰ること。また、アイシング等で使用した氷をトイレや洗面台に投棄しないこと。
  - (9) チーム責任者は、参加する選手・スタッフの健康状態(検温・体調)を把握し、体調管理を徹底させること。
  - (10) 陽性者、または濃厚接触者となった場合、その選手は保健所の待機指示が解除になるまで大会への参加は認めない。
  - (11) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる場合は、該当者と他選手・スタッフを接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関に受診させる。チームは、保健所が濃厚接触者の範囲を確定するまで待機とし、確定後濃厚接触に該当しない選手は大会への参加ができる。保健所の確定が試合設定時刻より15分経過した時間を過ぎた場合は棄権扱いとする。